

# グループ経営ビジョン「変革 2027」達成に向けた取組み

## 新型コロナウイルス感染症対策

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症対策として、駅・車内における消毒液による除菌、空調装置や車内の窓開けによる換気等を実施し、お客さまに安心してご利用いただける環境づくりに取り組んでいます。また、JR東日本アプリにおいてお客さまにご判断いただけるよう、山手線車内や一部駅等における混雑情報をほぼリアルタイムで提供しています。



駅・車内での清掃の様子

## WATERS takeshiba開業

2020年10月24日、オフィス、ラグジュアリーホテル「メズム東京、オートグラフ コレクション」、商業施設「アトレ竹芝」、JR東日本四季劇場「春」「秋」からなる複合施設「ウォーターズ竹芝」がまちびらきを迎えました。

「つぎの豊かさを生み出すまち」をビジョンに掲げ、劇団四季とともに培ってきた文化・芸術の発信拠点としての機能を核としながら、水辺と浜離宮恩賜庭園を望む立地環境を最大に活かし、自然や四季を身近に感じられる新しいまちづくりを推進してきました。

公式  
HP



## ゼロカーボン・チャレンジ2050

当社グループは、脱炭素社会への貢献とともに、環境優位性のさらなる向上とサステナブルな社会の実現をめざして、環境長期目標「ゼロカーボン・チャレンジ2050」を策定し、グループ全体で2050年度のCO<sub>2</sub>排出量「実質ゼロ※」に挑戦しています。目標達成に向けて、新たな技術の導入や再生可能エネルギー開発推進、ハイブリッド車両（燃料電池）試験車両の実証実験など、水素社会の実現に向けた挑戦を積極的に進めていきます。



燃料電池試験車両「HYBARI(ひばり)」

※「実質ゼロ」…排出されるCO<sub>2</sub>と同じ量のCO<sub>2</sub>を最先端技術等により吸収・回収・利用して事実上ゼロにすること。

WATERS  
*takeshiba*



# グループ経営ビジョン「変革 2027」達成に向けた取組み

## STATION WORKの拡大

社会全体の働き方の変化を踏まえ、半日単位からJR東日本ホテルメッツの客室をテレワーク等の拠点として利用できるサービスを開始するなど、シェアオフィス事業「STATION WORK」を拡大しました。今後、2025年度までに全国で1,000カ所の展開をめざします。



ホテルメッツ客室

STATION BOOTH

## 生活サービスのDX推進

JRE MALL商品の拡充とJRE POINTの会員基盤強化を図るため、株式会社千趣会と資本業務提携を行いました。また、ショッピングサイトJRE MALLでふるさと納税の取扱いを開始したほか、今後はオンラインツアーによる地域の魅力発信等を行います。当社グループは、生活サービス事業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を加速し、オンラインでの地方創生を推進します。

JRE POINTが「貯まる」「使える」  
**JRE MALL**



## 新幹線等を活用した列車荷物輸送

列車の強みである「速達性」「定時性」を活かし、新幹線等の列車を活用した荷物輸送サービスを拡大しました。これにより、付加価値の高い地産品の輸送と、地域事業者等の販路拡大に取り組んでいます。

2020年8月には、リニューアルオープンした東京駅エキナカ商業施設「グランスタ東京」内「回転寿司羽田市場」等においては、東北新幹線で運んだ函館エリアや東北の新鮮な鮮魚類をメニュー化し、お客さまに提供しました。



新幹線荷物輸送

## MaaSの推進

お客さまのシームレスな移動と暮らしの実現をめざし、「MaaS (Mobility as a Service)」を推進しています。「観光型MaaS」の実証実験として2020年4～6月に群馬県を中心とした「グブッとぐんMaaS」、2020年9～11月の「TOHOKU MaaS 仙台・宮城trial」などを重ね、引き続き他社等とも連携して「MaaS」の実用化を推進してまいります。



TOHOKU MaaS 仙台・宮城trial